

## 神戸も尼崎？

尼崎藩は尼崎城を拠点とし、摂津国川辺郡・武庫郡・菟原郡・八部郡（現在の兵庫県尼崎市・宝塚市・西宮市・芦屋市・神戸市南部・伊丹市の一部・川西市・猪名川町）を領した藩でした。ですから、昔の尼崎は神戸も含んでいたのです。

豊臣秀吉に家臣として仕えていた建部氏は江戸時代に入っても引き続き尼崎郡代として700石を所領していました。そして時の当主・政長は元和元年（1615年）大坂の陣において親族である池田利隆・忠継兄弟の幕下で軍功をたて、伯父の池田重利とともに川辺郡・西成郡に1万石を所領する大名に取り立てられ、尼崎藩が誕生したのです。その後、藩主は転封・入封（組み換え）によって、交替します。

元和3年、徳川家譜代の戸田氏鉄には5万石が与えられ、尼崎藩は川辺郡・武庫郡・菟原郡・八部郡の大部分を領有しました。次に青山氏が遠江国掛川藩から入封し、戸田氏の体制を引き継ぎました。青山氏時代の尼崎藩は比較的裕福のようでした。ちなみに東京の青山の地名は、青山家の広大な江戸下屋敷（別荘）にちなんでこの付近一帯の町名に冠したものです。

さて、神戸も尼崎藩であったことは、記録以外からも窺い知れます。それは、高速神戸駅東出口すぐにある湊川神社の灯籠です。「摂州尼崎藩」の文字が刻まれているものがあり、湊川神社周辺は尼崎藩の管轄だったことがわかります。

### 湊川神社について

湊川神社は類まれな特徴をもつ神社です。神社自体の歴史は意外にも浅く、明治時代の創設です。もともとこの地は、南北朝時代「湊川の戦い」の旧跡とされるところで、元禄5年（1692年）に徳川光圀（水戸黄門）により「嗚呼忠臣楠子之墓」の石碑（楠木正成の墓）が建立された場所です。（それ以前は、碑石もなく田の中に梅と松の木があるだけの荒れた状態にあったらしいです）ですから地元の人々は「湊川神社」ではなく、「楠公さん（なんこうさん）」と呼んでいます。

光圀が、楠木正成の顕彰のための建碑を思いついたのは、若い頃に『史記』伯夷伝を読んで衝撃的な感銘を受け、日本の史書編纂『大日本史』を志したことに由来します。光圀は儒学に基づく尊皇思想と史書編纂の考証を通して、吉野などを拠点とした南朝を皇統の正統とする史論に至りました。それは南朝側武将への顕彰に繋がり、『太平記』によって英雄化された楠木正成はその一番の忠臣として挙げられたことから、光圀は建碑を決めたのです。幕府の要職にある光圀が、尊皇の先鋭であった正成公を深く尊敬するにあたり、そのバランス感覚や器量の広さには驚くばかりです。また、光圀は立案者兼出資者で、実際に建立の実務にあたったのは、佐々介三郎宗淳（助さん）です。彼は、もと京都妙心寺の僧侶でしたが、史臣として水戸藩に仕えることとなりました。

撮影日 1月5日  
沢山の人がお参りしていました。



## 国が建てた神社

さて、明治時代に創設された湊川神社は、誰が建てたのでしょうか？ 驚くなかれ明治政府です。最初に建立を建白したのは薩摩藩で、湊川近辺で計画をしていました。しかし、尾張藩が横から口を挟む形で、京都建立計画をぶち上げました。さらに水戸藩が藩独自で建立する案を計上しました。結局は幕末から明治維新への大きなうねりの中、紆余曲折の上、この地において国（明治政府）が建立することとなりました。

村などの生活共同体でもなく有志でもなく宗教者でもなく藩でもなく、政府によって建てられるのは、非常に稀有と言えるでしょう。国家の英雄である楠木正成の祭祀を、政府以外の者に行わせるわけにはいかなかったのです。

## 人を祀る神社

人物神を祀る神社としては、大阪天満宮や日光東照宮などが有名ですが、湊川神社においてはそれらとは違った旨があります。殆どの人物神は、天満宮に代表されるように、御霊信仰に基づくもので、著しい靈力を備え、神霊と呼ばれるに相応しい段階を経たのち、神社に祀られます。ところが、楠木正成公においては江戸時代を通じて英雄として尊敬されてきました。それは、模範的な人間としての尊敬であり、尊敬される彼はどこまでも人間としての存在でした。湊川社においては、初めて人を神社に祀ることが顕彰の手段として、採用されることとなったのです。このことは、その後の神社建立にも大きな影響を与えただけでなく、神社(祭神)を日本人のより身近な存在として至らしめることにもなりました。

## 墓のある神社

本来、神社（神道）において死のケガレはもっとも忌避すべきものだとされているにも関わらず、湊川社では、ケガレを持つ墓に隣接して社殿が建てられています。ケガレの問題は祭神となった人物は生前にも遡って神と見なすことによって、回避していると推察されます。また近世の神葬祭の発展により、死者の祭祀に神道が関わることへの抵抗が弱まったことも影響しているという見方もあります。

## **湊川神社 見所**

・降魔・伏邪の賛    ・北白川宮房子 歌碑    ・光圀の立像 頌徳碑    徳富蘇峰 筆

・「嗚呼忠臣楠子之墓」光圀公 筆

・本殿の階下左右にある金色の獅子・狛犬 平櫛田中 作

・拝殿天井絵「大青龍」は福田眉仙 作

・板画「運命」    ・拝殿両側の獅子・狛犬の壁画    棟方志功作

江藤新平 献燈

大木喬任 献燈

大隈重信 献燈

伊藤博文 献燈、兵庫県知事として湊川神社の創建に尽力